

鳥取市との関わり

《吉川経家公に由来する歴史的なつながり》

1581年、吉川経家公は毛利方の最前線であった鳥取城に城将として派遣され、天下統一を目指す織田信長の武将・羽柴秀吉との間で、約3カ月間にわたり、壮絶な籠城戦を繰り広げました。秀吉の兵糧攻めにより、兵糧が尽き果てた城内は悲惨な状況に陥り、経家公は、城内に残る兵士や城に避難した民衆の命と引き換えに35歳の若さで自刃しました。

その後、経家公の子孫が岩国藩の家老を務めたことから、昭和14年に鳥取城の石を土台として、経家公の弔魂碑がゆかりの地である横山に建立されました。

平成3年1月に、鳥取市民が本市を訪れた際、この弔魂碑を目にしたことがきっかけで、両市民の交流が始まりました。鳥取市では、平成5年に鳥取城跡において経家公の銅像が建立され、2年後の平成7年10月に岩国市と鳥取市は姉妹都市提携を行いました。



鳥取市民により鳥取城跡（久松山の麓）に建立された経家公の銅像



横山に建立された経家公の弔魂碑。台座の石には「鳥取城ノ石」と刻まれている

交流事業

● 岩国市から鳥取市へ

鳥取三十二万石お城まつりへの参加



岩国市の観光PR



岩国市のPRブース

● 鳥取市から岩国市へ

岩国祭への参加



鳥取しゃんしゃん傘踊り



鳥取市のPRブース

鳥取市の名所



鳥取城跡



砂の美術館
(写真提供：砂の美術館)